

# 同窓生の佐藤朋子さんと 遺愛ハンドベル・合唱部がジョイントコンサート (2012 でんけんコンサート)

11月23日(金)14:00より函館カトリック元町教会聖堂で、「2012 でんけんコンサート」が開催されました。「でんけんコンサート」とは、函館西部地区が平成元年に「伝統的建造物保存地区(略称:伝健地区)」という国の文化財に指定され、平成16年には北海道遺産の選定を受けたのを機に、伝統的建造物と芸術文化(クラシックコンサート)の融和を数多くの人に肌で感じてもらうと始めたものです。

今年は遺愛同窓生でソプラノ歌手の佐藤朋子さんと遺愛女子中学校のハンドベルクワイアそして遺愛女子中学校・函館商業高校合同合唱チームのジョイントコンサートが企画されました。当初チケットの出が芳しくなかったのですが、お客さんが集まるかどうか懸念されましたが、当日は220名をこえる観客で聖堂は超満員で立ち見の方も多く出て、とても盛会でした。

コーディネーター・MCそしてオルガニストの石崎 理さんの巧みな司会進行のもと演奏会が始まりました。佐藤朋子さんによる「レクイエムより『ピエ・イエズ』」(G.フォーレ作曲)、ハンドベルによる「オペラ座の怪人」(AL ヴェバー作曲)、合唱団による「明日へ続く道」(星野富弘作詞、千原英喜作曲)など10曲が演奏されました。中1生が多いハンドベル部は、コンサートのたびごとに上達し、顧問の水田先生や先輩達のリードのもと難しい曲を見事に演奏していました。遺愛と商業高校の合唱部は、合同3年目で、表情豊かにとても美しいハーモニーを奏でていました。東京芸大、武蔵野音大、イタリア・ウルバニア、ミラノ音楽院で研鑽された佐藤朋子さんの声はさすがに圧巻で、聖堂

いっぱい響き渡り、多くの聴衆に感動をもたらしました。

最後は三者のジョイントでC.ドブリンスキー編曲の「O Come ,Let Us Adore Him」が演奏され、たくさんの暖かい拍手をいただきました。

枯れ葉舞う晩秋の函館西部地区にふさわしいコンサートでした。

2012年11月26日(月)

